

仙台城下絵図からたどる伊達騒動

仙台市博物館 学芸普及室長 水野 沙織

第6回

寛文四年の城下絵図

仙台城下を描いた絵図には、侍屋敷の敷地割と居住者名が記されたものがあります。今回は寛文四年（一六六四）作成とされる城下絵図から「伊達騒動」をたどってみましょう。

この絵図の描かれた頃、仙台藩は家臣名とその禄高を記した「仙台藩分限帳」を作成し、家臣団の把握に本腰を入れていました。また、寛文五年に奉行が屋敷奉行に通達した「仙台惣屋敷定」では、禄高に応じた屋敷面積、新屋敷を希望する者への対応や屋敷交換のルールなどを示し、家臣に対して身分相応の屋敷構えを求めています。この絵図は居住者名が記された現在確認できる最古の城下絵図でもあり、分限帳と併せて家臣団把握のために仙台藩が作った絵図と考えられます。

伊達騒動の舞台

それでは寛文四年の仙台城下にご案内しましょう。

仙台城大手門の目の前には、後見人政治を監視するため幕府から派遣された国目付の屋敷があります（絵図中の①）。

寛文七年にはこの国目付を襲撃する仙台城二の丸②で、席次争いが起きました。片平丁の通りには、藩の家格最上位の一門や奉行職に就く上級家臣の広い屋敷地が並んでいます。北端の支倉町近くには後見人の一人伊達兵部宗勝の屋敷があり③、現在の西公園辺りには寛文十一年に刃傷事件で奉行の原田甲斐輔に殺される一門浦谷伊達氏の安芸宗重④、同じく現在の仙台高等裁判所付近には六カ条問題で後見人と対立し、寛文三年に奉行を罷免された奥山大学常辰⑤と、同年新たに奉行に登用された原田甲斐宗輔⑥が隣り合って屋敷を構えています。南に下るともう一人の後

見人田村右京宗良⑦と、後に知行地の境目をめぐり伊達安芸宗重と争うことになる一門登米伊達氏の式部宗倫⑧の屋敷があります。

この後、一門同士の境界争いや伊達宗勝の政治関与により藩政は混乱し、幕府を巻き込む騒動に発展します。しかし、国元や江戸で争う事件の当事者たちは、仙台城下では一本の道沿いの近接した場所に屋敷を構えていたのです。



仙台城下絵図(部分) 寛文4年(1664) 宮城県図書館蔵

刊行物のご紹介



「仙台市史」活用資料集vol.2～8

『仙台市史』の中から区ごとの歴史を取りあげ、コンパクトに紹介しています。仙台の歴史をさらに深く知るためのヒントが満載です。

vol.2 若林区の歴史探し	vol.5 太白区の歴史探し-西部-
vol.3 泉区の歴史探し	vol.6 太白区の歴史探し-東部-
vol.4 宮城野区の歴史探し	vol.7 青葉区の歴史探し-西部-
	vol.8 青葉区の歴史探し-東部-

各巻600円(税込)
A4 / オールカラー / 16ページ (vol.8のみ24ページ)
※「vol.1 授業で使える仙台の歴史余話」は完売しました

お求めはこちら

カネイリ ミュージアム ショップ
KANEIRI Museum Shop 6
所在地: 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク1階
営業時間: 10時～20時(毎月第4木曜日休)
電話番号: 022-714-3033

市政情報センター
所在地: 仙台市青葉区国分町3-7-1
仙台市役所2階
開館時間: 9時～17時(土・日・祝・毎月第4水曜日休)
電話番号: 022-214-1239



その他の刊行物の紹介や、購入方法は博物館ホームページでご案内しています

仙台市博物館
SENDAI CITY MUSEUM

▶ 博物館ホームページ [仙台市博物館](#) 検索 ▶ お問い合わせ
▶ 博物館X(旧ツイッター) @sendai_shihaku

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)
TEL: 022-225-3074 8:30-17:15
※土・日・祝日・12/29～1/3を除く

※当館は現在、大規模改修工事のため休館しています。令和6年4月2日から再開予定です。